

2027 年度 専門医申請のご案内 (新規)

I. 乳腺専門医新規申請資格

- ・ 日本国の医師免許証を有していること。
- ・ 基盤学会専門医または日本乳癌学会の旧認定医*であり、2021 年 7 月 31 日までに学会に入会していること。
 - * 2023 年までに申請（新規・更新）を行って承認された認定医
 - * 基盤学会専門医がなく、旧認定医資格を以て申請される場合は事務局までご連絡ください (office@jbcs.gr.jp)。
- ・ 会費を完納していること（2026 年度の会費まで）。
- ・ 医師免許取得後 7 年もしくは、初期臨床研修期間（2 年）終了後 5 年以上経過していること。
- ・ 乳腺外科専門医研修カリキュラムの基幹施設および連携施設（以下、基幹・連携施設）もしくは本学会が認定した認定施設および関連施設（以下、認定・関連施設）において所定の研修カリキュラムに従い、常勤で通算 5 年以上修練を行っていること。
 - ※初期研修期間（2 年）は含まれない。
 - ※非常勤の場合は、常勤に準ずる勤務である旨の勤務証明書が必要。
 - ※新医師臨床研修制度（平成 16 年度）開始以前に医師免許を取得した場合には、医師免許取得後、基幹・連携施設、もしくは認定・関連施設において所定の研修カリキュラムに従い、常勤で通算 5 年以上修練を行っていること
- ・ 基幹・連携施設もしくは認定・関連施設における乳癌経験症例が 100 例以上あること。
 - ※初期研修期間（2 年）は含まれない。
- ・ 乳腺疾患に関する研究業績が 30 点以上あること。
- ・ 査読を伴う学術雑誌に筆頭者として、乳腺疾患についての、原著あるいは症例報告として 1 編以上の論文発表を行っていること。
- ・ 日本乳癌学会が主催する 2023 年度以降の乳腺専門医・認定医セミナーの受講証明があること（2023 年 4 月 1 日以降発行の受講証明書）。

II. 申請期間

2026 年 5 月 1 日～2026 年 7 月 31 日 23 : 59

申請書類は会員ページ（以下、My Web）よりデータにて提出してください。郵送での申請を希望される場合は別途手数料 5,000 円が必要となります。締め切り直前の問い合わせには対応できないことがありますので、日数に余裕をもって申請してください。尚、申請期間を過ぎたの申請は一切受理できません。

III.申請書類

作成にあたっての注意事項

- ・虚偽の記載が判明した場合には、申請者及び施設の認定を遡って停止となる可能性があります。
- ・手術療法、画像診断、放射線治療、薬物療法から1つ選択してください。
- ・旧書式による申請は受けません。最新版をMyWebよりダウンロードしてください。
- ・記入欄が不足している場合は、適宜追加してください。
- ・Excelで提出するものとPDFにして提出するものがあります（VIII.チェックリスト参照）。
- ・審査員が見やすいように提出してください（不鮮明な書類は不可）。
- ・指定のファイル名（VIII.チェックリスト参照）で提出してください。

① 乳腺専門医新規申請書

- ・まず始めに、My Web の会員情報のアップデート、手術療法にて申請される場合は NCD 症例の提出（P4<症例の提出方法>参照）、を行ってください。
※MyWeb に「携帯番号」の登録がない場合は、ご登録ください。試験当日の緊急連絡先としても使用します。
- ・申請書は My Web の「資格情報確認・申請」から申請に進んでいただき、ダウンロードしてください。My Web の会員情報が反映されます。
※ダウンロードできる申請書のフォームが変わるため、必ずどの資格を申請するか先に選択をしてから申請書をダウンロードしてください。
My Web <https://jbcs.members-web.com/login>
- ・ダウンロードをした申請書に必要な箇所をご入力ください。

② 研究業績一覧

乳腺疾患に関する研究業績が 30 点以上あること。

※業績として認められるかどうかは最終的に専門医制度委員会・認定委員会での判断となる。

【論文】

査読を伴う学術雑誌に筆頭者として、乳腺疾患について、原著あるいは症例報告として 1 編以上の論文発表を行っていること。

- ・査読システムが認定委員会で確認できないものは不可。
- ・論文別刷あるいは論文が掲載されている学術雑誌の論文の全文コピー（出典・論文全体の内容がわかるもの）を添付し、可能であれば自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと。
- ・2026 年 7 月 31 日までに採択の返事を得られている場合には、それを証明できるものを提出すれば認めるが、投稿中であっても 2026 年 7 月 31 日までに採択の返事を得ら

れていない場合には業績として認められない。なお、掲載予定の論文は論文原稿に掲載証明書（アクセプトメール可）を添付して提出をすること。

【学会発表】

査読のある全国規模の学会（日本乳癌学会地方会は可）における乳腺疾患に関する発表であること。

- ・発表学会名、発表年月日が記載された抄録集の表紙もしくは会期がわかるページと抄録の載ったページを添付し、可能であれば、自身の名前が確認できるように赤丸で囲むこと。※過去の乳癌学会学術総会の抄録については、MyWebにて閲覧可。

研究業績点数表

	欧文論文	和文論文	国際学会 日本乳癌学会	国内学会	日本乳癌学会地方会 乳腺関連研究会
筆頭	10	6	4	3	2
共同	3	2	1	1	1

- ③ 基幹・連携施設/認定・関連施設修練修了証明書（施設ごとに1枚提出すること）
- ・非常勤の場合は常勤に準ずる勤務である旨の施設長による勤務証明書を添付。（書式自由 但し、勤務形態等、常勤に準ずる勤務と判断した根拠を記載のこと。）
 - ・産休、育休については修練期間には含まれない。
- ※再申請で内容に変更がない場合、以前提出した修練証明書を代用することは可。

④ 乳癌症例記録 乳癌症例の診療経験目録

- ・乳癌の確定診断のついた症例のみ記載すること（良性・疑いは不可）。
- ・手術療法（術者）、画像診断、放射線治療、薬物療法、何れかの領域における100例以上の診療経験（混合は認めない）を記載。
- ・画像診断、放射線治療、薬物療法を選択した場合は、症例記録に詳細なレポート30例と70例の診療経験目録を提出する。
- ・当時指導を受けていた指導責任者が異動等によって現在その施設にいない場合は、現在その施設で指導を行っている指導責任者から証明をもらうこと（専門医である必要あり）。
- ・認定施設で乳腺専門医が常勤でない場合のみ施設長の証明（公印）で代用可。この場合、専門医番号の記載は不要。

各診療領域の条件については、以下の通り定める。

【手術療法】

- ・NCD 登録があり、乳癌の確定診断のついた術者としての症例のみ対象（良性・疑いは不可）。
- ・表示専門医「乳腺外科 乳癌登録」にチェックがあること。
- ・ステータスが「完了（承認済）」となっていること。

（術式）

NP0188：乳腺悪性腫瘍手術 2.乳房切除術 腋窩部郭清を伴わないもの

NP0283：皮膚温存乳房全切除術

NP0284：乳頭温存乳房全切除術

NP0285：乳管腺葉区域切除術 ※2019 年以前は OP0022:乳腺腺管腺葉区域切除術

NP0294：乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（内胸、鎖骨上、下窩など郭清併施）

※2022 年以前は OP0032：乳腺悪性腫瘍手術（拡大乳房切除術）（胸骨旁、鎖骨上、下窩など郭清併施）

NP0295：乳腺悪性腫瘍手術 ラジオ波焼灼術

OP0028：乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴う）

OP0029：乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術）（腋窩部郭清を伴わない）

OP0030：乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴う）（胸筋切除を併施しない）

OP0031：乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術）（腋窩鎖骨下部郭清を伴う）（胸筋切除を併施）

※OP0016 や OP0023 等の VAB や CNB の症例は対象外。

<症例の提出方法> 原則、診療経験目録の提出は必要ありません。

NCD のシステムにログインをしていただき、システムより症例を提出してください。

別途マニュアル「NCD-Person マニュアル」（HP に掲載）に従い、申請前に以下の URL より「提出する」を実施してください。NCD から事務局へデータが提供され、個々の My Web に反映されます。「提出する」を実施いただいてから、My Web への反映までには時間がかかりますので、申請を検討されているようでしたら、早めにシステムからの提出をお願いいたします。

NCD-Person： <https://system.ncd.or.jp/member/~jbcs/>

※NCD 検索リストの提出は不要です。

※NCD から提供される手術症例数は、2025 年 12 月までの分となり、2026 年分は提供されません。2026 年分を提出しないと 100 例に満たない場合は、「④-2 乳癌症例の診療経験目録」に記載し、指導責任者の証明をもらってください。NCD 登録が行われていない 2012 年以前の症例についても同様に「④-2 乳癌症例の診療経験目録」に記載し、指導責任者の証明をもらってください。

【画像診断】

- ・乳癌症例記録(画像診断)には、初診年月・診断手技・病理組織診断確認日・病理組織診断名・診療内容(画像所見を含む)の記載が必須。
- ・診療経験目録には、初診年月・診断手技・病理組織診断名を必ず記入する。
- ・経験症例には、組織診断による癌の診断確定を得ていることが必要(細胞診による診断は不可)。
*申請者自らが針生検などにより病理組織診断を行わなくても、最終的に”組織診断による乳癌の確定診断を得ていること”のフィードバックを受け、自らの画像診断の精度管理を行ってれば、この要件をクリアしていると判断します。
- ・再発・転移に対する診断は認めない。

【放射線治療】

- ・乳癌症例記録(放射線治療)には、初診年月、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射期間、照射線量、診療内容の記載が必須。
- ・診療経験目録には、施行期間、原発、進行・転移再発、病理組織診断名、術式、照射部位、照射線量を記入すること。

【薬物療法】

- ・乳癌症例記録(薬物療法)には、初診年月・病理組織診断名・ホルモン受容体(ER, PgR)・HER2・治療ライン(術前/術後/進行・転移再発)・レジメ・薬剤名・投与期間・診療内容の記載は必須。この症例記録では、転移再発症例での治療経験を30例中15例以上提出すること。
- ・診療経験目録には、施行年月・治療ライン(術前/術後/進行・転移再発)・病理組織診断名・ホルモン受容体(ER, PgR)・HER2・レジメ・薬剤名を記入すること。転移再発症例での治療経験を含めて提出すること。(転移再発症例は症例記録、診療目録合わせて100例中30例以上あることが望ましい)。
- ・周術期薬物療法の症例は、殺細胞性抗癌薬に限る。(ホルモン療法・分子標的治療のみ及びその併用は不可*)また、初回投与開始症例のみに限る。
※術前化学療法Aを行い、術後治療Bを行った場合でも、1例と扱い、別個に掲載しない、つまり治療レジメをダブルカウントしないこと。
*¹HER2陽性乳癌における術後のT-DM1のみは不可(術前治療からの担当が必須)。また、Olaparib+ホルモン治療、Abemaciclib+ホルモン療法も、基本ハイリスクなので化学療法からの担当が必須。化学療法を実施しない場合はその理由根拠が明確であれば可。
- ・転移再発症例は、初回投与に限らず提出可能であるが、同一患者で提出可能なのは1レジメまでとする。(同一患者において治療の継続やレジメの変更で提出することは不可)レジメは転移再発乳癌に保険適用となっている治療法であれば、その種類を問わず申請可能である。(殺細胞性抗癌薬のみに限定しない)臨床試験や治験症例であれば保険適用外例も可とする。

- ⑤ 2023 年度以降の専門医・認定医セミナー受講証明証(2023 年 4 月 1 日以降発行の受講証明書)
- ⑥ 医師免許証
- ⑦ 臨床研修修了証 (2004 年以降医師免許取得の場合)
- ⑧ 基盤領域学会専門医認定証
- ⑨ 顔写真 (JPEG,JPG,PNG)
面接時の本人確認に使用いたします。3 ヶ月以内の無帽、正面向、上半身写真、白黒・カラーどちらでも可。

《申請書類における患者個人情報の保護について》

- ・申請書類入力にあたっては、個人が特定出来ないよう施設の個人情報取り扱いに関する規定を順守すること。
- ・施設監査を行った際にスムーズに診療録や手術記録とつき合わせ確認が出来るようにしておくこと。

IV. 認定医の同時取得が可能です ※認定医の取得は任意です。

新認定医制度について

これまでの制度では、認定医は乳腺専門医を目指す医師の為のその基盤としての資格でした。ゆえに乳腺専門医の資格を有する先生は、認定医の更新をしない限り、その資格を失効している状況でした。2024 年度より、乳腺診療の質を日本乳癌学会が保証する認定制度として、新しく生まれ変わり、指導医専門医取得・更新の際に希望されれば、認定医が取得できることとなりました。希望される場合は、My Web にて申請の際、「認定医の同時取得をご希望の方は、チェックを入れてください。」にチェックをしてください。希望され、合格した場合は乳腺専門医認定料に追加して乳腺認定医認定料 1 万円が必要となります。

乳腺認定医認定期間：2027 年 4 月～2032 年 3 月（乳腺専門医認定期間と異なります。乳腺専門医認定期間：2027 年 1 月～2031 年 12 月）

※別途、認定医申請の申請書・申請料は不要です。

V. 申請料・提出方法

申請料：10,000 円

※認定医の同時取得を希望する場合も、別途追加の申請料は不要です。

My Web より申請書類のアップロードと申請料の支払い（クレジットカードでのお支払いをお勧めしております）をお願いいたします。詳しい申請方法については、別途「申請手順」をご確認下さい。Excel のまま提出するものと PDF にするものがありますので、Ⅷ. チェックリストにて事前にご確認ください。受領メールはお送りいたしませんので、MyWeb にて申請ステータスが「申請済」になっていることをご確認ください。

なお、既納の申請料は、いかなる理由があっても返却いたしません

<データでの提出が難しい場合>

データでの提出がどうしても難しい場合は、郵送での提出を受付けます。

まず、MyWeb の「資格情報確認・申請」より「郵送による資格申請を依頼する」をクリックしてください。

郵送で提出する場合は別途 5,000 円の手数料が必要となりますので、申請料 15,000 円（申請料 10,000 円+手数料 5,000 円）を My Web よりご入金いただき、配達記録が残る簡易書留、レターパック等で事務局宛にお送りください（2026 年 7 月 31 日必着）。

郵送にて提出される場合は一部を郵送ではなく、全ての申請書類を郵送でお送りください。

〒103-0027

東京都中央区日本橋 3-8-16 ぶよおビル 3F

日本乳癌学会 宛 まで

Ⅵ. 今後のスケジュール

■8 月 20 日(木)～9 月 30 日(水) 学科試験テストセンター予約

- ・テストセンターの予約は受験者ご自身で行っていただきます。予約方法の詳細につきましては、8 月初旬にメールにてご案内いたします。
- ・申請書にご入力いただいた「希望する CBT 試験会場(都道府県)」は、受験会場を確約するものではありません。希望する都道府県で、予約可能なテストセンターがない場合は、近隣の都道府県でご予約ください。
- ・テストセンター予約時に、費用は発生いたしません。書類審査通過後、MyWeb より受験料をお支払いください。
- ・予約の変更・キャンセルは、マイページより受験日の 3 日前まで可能です。
- ・「キャンセル」は座席の予約を一部取り消す操作です。受験そのものの予約を取り消すことはできません。受験料支払い後はいかなる理由でも返金できません。
- ・書類審査通過後、締切りまでに受験料の支払いが確認できない場合は、事務局にて予約をキャンセルいたします。
- ・書類審査が不合格となった場合は、事務局にて予約をキャンセルいたします。この場合キャンセル料は発生いたしません。

■9 月中旬（予定）…書類審査結果の通知

MyWeb にご登録のメールアドレス宛に連絡いたします。書類審査通過後、専門医試験のご案内をいたします。

受験料：30,000円 書類審査通過後に My Web よりお支払いください。

■9月末(予定) …専門医試験出願締切り

■11月12日(木) 15:00~16:30…学科試験(CBT方式)

■11月14日(土)…口頭試問(WEB)

時間は書類審査合格後、個々に設定して連絡いたします。

■12月中旬(予定) 試験結果通知

MyWebにご登録のメールアドレス宛に連絡いたします。

認定料：10,000円 ※認定医の同時取得希望の場合は20,000円。試験合格後に MyWeb よりお支払いください。認定証は MyWeb にご登録の希望の送付先にお送りいたします。

VII.問合せ先

日本乳癌学会事務局 office@jbcs.gr.jp

不明な点がある方は事務局へお気軽にお問合せください。正確を期すために、電話でのお問い合わせはお控えください。

VIII.チェックリスト ※全て My Web よりアップロード※

手術療法で申請される場合は、申請の前に NCD のシステム(NCD-Person)より症例を提出してください。P4<症例の提出方法>参照。

	申請書名	提出形式	ファイル名	備考
<input type="checkbox"/>	①乳腺専門医新規申請書	Excel のまま	ss_申請者名	申請書フォームの必要箇所にご入力いただきそのまま提出してください。③シート以降は PDF での提出ですが、削除せずそのままご提出ください
<input type="checkbox"/>	②-1 研究業績一覧 (論文)			
<input type="checkbox"/>	②-2 研究業績一覧 (発表)			
<input type="checkbox"/>	③基幹・連携施設/認定・関連施設修練修了証明書	PDF(印 をもらったあと)	修練修了証明書_申請者名	複数ある場合は続けてひとつの PDF におまとめください ※非常勤の場合は常勤に準ずる旨の勤務証明書も添付
<input type="checkbox"/>	④-1 乳癌症例記録	PDF (指導責任者印をもらった後)	診療経験目録_申請者名	手術療法の場合、④-1 は提出不要。NCD 登録が行われていない <u>2026 年 1 月以降</u> の症例、もしくは、 <u>2012 年以前</u> を申請する場合のみ④-2 の提出が必要。 複数ある場合は続けてひとつの PDF におまとめください。
<input type="checkbox"/>	④-2 乳癌症例の診療経験目録			
<input type="checkbox"/>	研究業績一覧の添付書類	PDF	発表_申請者名 / 論文_申請者名	複数の業績がある場合、論文と発表を分けて、それぞれ一つの PDF におまとめください。
<input type="checkbox"/>	乳腺専門医・認定医セミナー受講証明書	PDF	受講証_申請者名	2023 年度以降(2023 年 4 月 1 日以降発行の受講証明書)
<input type="checkbox"/>	医師免許証	PDF	免許証_申請者名	
<input type="checkbox"/>	臨床研修修了証 (2004 年以降医師免許取得の場合)	PDF	臨床研修修了証_申請者名	
<input type="checkbox"/>	基本領域学会専門医認定証	PDF	認定証_申請者名	
<input type="checkbox"/>	顔写真	JPEG,JPG, PNG	写真_申請者名	面接の際の本人確認に使用いたします。 3 ヶ月以内の無帽、正面向、上半身写真、白黒・カラーどちらでも可。